

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年8月5日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年8月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【1号機タービン建屋1階廊下の照明不具合について】 当直員がWeb監視カメラにて、1号機タービン建屋1階の廊下が暗くなっていることを確認。 電源を確認したところ、ブレーカーが切れていたため、絶縁抵抗を測ったところ、絶縁不良が確認された。 当該の廊下は、他の照明にて照度が保たれているため、データ採取や通行には問題なし。 原因は、電路上に雨水が被水したと推定。 今後、電路上の浸水箇所を特定し、防水処理を実施予定。</p>	G III	7月29日
2	<p>【火報監視用情報処理装置の不具合について】 当直員が、免震重要棟2階集中監視室に設置してある火報監視用情報処理装置が、原因不明で停止していることを確認。 その後、免震重要棟1階に設置してある親機の防災監視盤を確認したところ、当該情報処理装置への通信異常を知らせる警報が発生していたこと確認。 原因は、当該情報処理装置の基盤不良と推定。 確認のため火災模擬信号を投入したところ、免震重要棟1階に設置してある親機の防災監視盤に火報が発報したことを確認。 また、免震重要棟全館に火報音響の鳴動を確認したことから、免震重要棟2階集中監視室に設置してある当該情報処理装置での監視が出来なくとも、火報監視に影響なしと判断。 今後、当該情報処理装置を交換予定。</p>	G III	7月29日
3	<p>【吊荷の荷下ろしおよび資機材の整備作業に従事していた協力企業作業員の体調不良について】 協力企業作業員が1号機タービン建屋北側作業エリアで、吊荷の荷下ろしおよび資機材の整備作業終了後、休憩所へ戻った際、足がつった状態となった。 状態が改善されないため救急医療室に向かい、医師により熱中症 I との診断を受けた。</p>	G III	8月2日